

# 福島第一原子力発電所の状況

2016年3月14日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (3/14 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m <sup>3</sup> /h	14.6	0.56 kPa g	A系： 0.00 vol %
		炉心スプレイ系：約2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.00 vol %
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m <sup>3</sup> /h	19.7	3.42 kPa g	A系： 0.06 vol %
		炉心スプレイ系：約2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.05 vol %
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	17.4	0.24 kPa g	A系： 0.05 vol %
		炉心スプレイ系：約2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.05 vol %

## < 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (3/14 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	12.8
2号機	循環冷却システム	運転中	23.4
3号機	循環冷却システム	運転中	20.4
4号機	循環冷却システム	運転中	7.6 <sup>1</sup>

各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドランジンの注入を適宜実施。

1 4号機 SFP 代替冷却システム停止中の為、4号機 SFP 水温度に関しては至近のデータ(3/14 5:00)を掲載。

## < 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (3/14 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	停止中 <sup>*1</sup>	運転中 <sup>*1</sup>	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 <sup>*2</sup>	ホット 試験中 <sup>*2</sup>	ホット 試験中 <sup>*2</sup>

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 \*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## < 4. その他 >

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2016/2/9 陸側遮水壁の凍結に必要な工事が完了。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・1号機タービン建屋の循環注水ラインとの切り離しに向けて、原子炉建屋地下からの滞留水移送を実施中。

### [1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。

### [サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- 9/17～ 地下水のくみ上げを昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え。

- ・一時貯水タンク B の当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/5]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/12 9:57～15:12 に海洋への排水を実施。排水量は 761m<sup>3</sup>。
- ・一時貯水タンク C の当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/7]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/13 9:49～15:42 に海洋への排水を実施。排水量は 856m<sup>3</sup>。
- ・一時貯水タンク D の当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/8]は同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、3/14 9:57～15:46 に海洋への排水を実施。排水量は 843m<sup>3</sup>。

#### **【地下水バイパスの状況】**

- ・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ3の当社および第三者機関による分析結果[採取日 3/2]については、共に運用目標値を満足していることを確認。

#### **【1～3号機放水路の状況】**

1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム 137 の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

##### **<最新のサンプリング実績>**

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### **【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】**

##### **<K排水路排水口のサンプリング実績>**

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### **【H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】**

##### **<H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>**

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### **【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】**

##### **<地下水観測孔・海水サンプリング実績>**

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### **【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

- ・3/1 に採取した地下貯水槽 No.1周辺の観測孔 A11～17 の地下水を分析した結果、前回値(2/2 採取)の全ベータ放射能が ND(ND 値 22Bq/L)であったのに対し、最大で 200Bq/L に上昇していることを確認。なお、当該観測孔は3年前に地下貯水槽からの漏えいが確認された以降、NDだったが、全ベータ放射能の上昇が確認されたことから、漏えいの可能性も含めて調査を実施していく。

##### **<最新のサンプリング実績>**

- ・3/11 に採取した地下貯水槽観測孔(A1 から A19)の全ベータ放射能を分析した結果、前回値(3/10 採取)と比較して有意な変動はなかった。引き続き、地下貯水槽観測孔について監視を強化するとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していく。
- ・3/12 に採取した地下貯水槽観測孔(A1 から A19)の全ベータ放射能を分析した結果、前回値(3/11 採取)と比較して有意な変動はなかった。引き続き、地下貯水槽観測孔について監視を強化するとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していく。
- ・3/13 に採取した地下貯水槽観測孔(A1 から A19)の全ベータ放射能を分析した結果、前回値(3/12 採取)と比較して有意な変動はなかった。引き続き、地下貯水槽観測孔について監視を強化するとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していく。

以上